

他都市の事例

1. 大阪府豊中市（豊中市立文化芸術センター）
2. 愛知県豊橋市（穂の国とよはし芸術劇場PLAT）
3. 大分県大分市（J:COMホルトホール大分）
4. 鳥取県境港市（みなとテラス）
5. 長野県茅野市（茅野市民館／茅野美術館）
6. 長野県上田市（サントミュージゼ）

令和4年10月21日

第2回ホール等文化施設のあり方に関する検討委員会

豊中市立文化芸術センター（大阪府豊中市）

【事業概要】

- ・ 豊中市民会館の跡地に建設。
- ・ ホール、美術、博物の3機能を併設した複合施設として計画し、相乗的、効果的運用を図った。
- ・ 既存のアクアホールと中央公民館との連携を図りながら、市民の文化芸術活動の拠点となることを目指し、平成15年から有識者による豊中市文化芸術センター基本構想・計画検討委員会を組織。



※人口 約401,000人（R2.7.1時点）



豊中市立文化芸術センター（大阪府豊中市）

【事業経過】

- 平成16年3月 豊中市文化芸術センター基本構想
(設置目的、役割の設定・ホールと博物館、美術館機能を複合)
- 平成17年3月 豊中市文化芸術センター基本計画
(施設のあり方、運営管理の具体的検討)
- 平成20年3月 豊中市文化芸術センターに係るPFI導入可能性調査
- 平成21年3月 豊中市文化芸術センターに係る施設整備の事業化に向けた調査
- 平成23年3月 豊中市文化芸術センター整備計画策定のための調査
- 平成24年3月 豊中市文化芸術センター整備計画策定
- 平成25年 建設工事着手
- 平成29年1月 開館

豊中市立文化芸術センター（大阪府豊中市）

【手法】指定管理者制度（利用料金制）

《選定理由》

①運営方針を見直しやすい

美術館と博物館を新設するため運営方針が途中で変わる可能性が高かった。

②会館までに要する期間が短い

既に耐震性の問題で施設が休館しており、早期の使用開始が必要であった。

※DBO／PFIの応募・選定手続は16カ月⁽¹⁾。

(1)先進地事例（杉並区、いわき市、稲城市）より指定管理方式と比較して、会館が1年遅れる見込。

評価結果の一覧

	公設方式 (指定管理者制度)	DBO方式	PFI方式
視点1 安定的かつ継続的なサービス需要が見込まれる事業か (平成20年度調査との相違点で関連する事項)	・運営方針の見直しに対し、3～5年の契約であり大きな影響なし (博物館部門も含めた一体運営) ◎	・運営方針の見直しに対し、長期契約のため事業への影響は大きい (博物館部門も含めた一体運営) △	・運営方針の見直しに対し、長期契約のため事業への影響は大きい (博物館部門も含めた一体運営) △
視点2 民間ノウハウを活用する余地がある事業か (平成20年度調査との相違点で関連する事項)	・相対的に民間に委ねる業務範囲が狭く、民間ノウハウ活用余地が小さい (博物館部門も含めた一体運営) △	・相対的に民間に委ねる業務範囲が広く、民間ノウハウ活用余地が大きい (博物館部門も含めた一体運営) ◎	・相対的に民間に委ねる業務範囲が広く、民間ノウハウ活用余地が大きい (博物館部門も含めた一体運営) ◎
視点3 事業リスクの大きい事業か (平成20年度調査との相違点で関連する事項)	・事業リスクの大きさは相対的には変わらず、大きな影響はない (教育・普及業務の縮小、対象施設は文化芸術センターのみ) ○	・事業リスクの大きさは相対的には変わらず、大きな影響はない (教育・普及業務の縮小、対象施設は文化芸術センターのみ) ○	・事業リスクの大きさは相対的には変わらず、大きな影響はない (教育・普及業務の縮小、対象施設は文化芸術センターのみ) ○
視点4 公共性の関与の必要性が高い事業か (平成20年度調査との相違点で関連する事項)	・業務範囲の設定次第で公共性の担保は可能 (特になし) ○	・業務範囲の設定次第で公共性の担保は可能 (特になし) ○	・業務範囲の設定次第で公共性の担保は可能 (特になし) ○
視点5 事業スケジュールに余裕がある事業か (平成20年度調査との相違点で関連する事項)	・相対的に募集・選定手続きの負担は少なく、早期に供用開始が可能 (平成23年4月より市民会館休館) ◎	・相対的に募集・選定手続きの負担が大きく、供用開始時期が遅れる (平成23年4月より市民会館休館) △	・相対的に募集・選定手続きの負担が大きく、供用開始時期が遅れる (平成23年4月より市民会館休館) △

豊中市立文化芸術センター（大阪府豊中市）

【施設内容】

【1】ホール

・大ホール1344席（5709m²）

▣コンサート・演劇・古典芸能等、様々な舞台公演に対応した劇場型多目的ホール

・小ホール202席

【2】展示・多目的

・展示室213人（325m²・天井高5m）

▣可動式の壁面（20枚）

▣最大5部屋区切り

・多目的室160人（220m²・天井高5m）

・特別展示室（23m²）▣ガラスケース



大ホール



小ホール



展示室

※豊中市文化芸術センターHP引用

豊中市立文化芸術センター（大阪府豊中市）

【施設内容】

【3】 練習室・スタジオ

- ・練習室①（43㎡・21人）
- ・練習室②（94㎡・47人）
- ・練習室③（36㎡・18人）
- ・スタジオ（26㎡・8人）

【4】 ミーティングルーム・和室

- ・ルーム①（43㎡・26人）
- ・ルーム②（33㎡・20人）
- ・ルーム③（32㎡・20人）
- ・和室（40㎡・16人）

【その他】

- ・キッズルーム（無料開放）
 - ▣ ボールプール
 - ▣ 絵本
- ・駐車場（地下75台）



練習室



キッズルーム



5 和室

穂の国とよはし芸術劇場PLAT（愛知県豊橋市）

【事業概要】

- ・豊橋東口駅南地区の再開発事業予定地の一部に建設。
- ・平成16年に総合文化学習センター基本計画を策定し、「生涯学習センター」「図書館」「芸術文化交流施設」の3つの機能を持つ施設が構想されたが、その1次整備として文化交流施設が単独で整備された。
- ・主に舞台芸術系の中ホールとして整備を目指した。点に在する既存の文化会館（490席）を音楽系の多目的中ホール、コンサートホール（1000席）を音楽専用ホール、公会堂（601席）を大会・式典中心の多目的中ホールとして、それぞれ専門性と特色を持たせる。



穂の国とよはし芸術劇場PLAT（愛知県豊橋市）

【事業経過】

平成14年9月	豊橋市総合文化学習センター（仮称） 基本構想（設置目的、役割の設定・ ホールと生涯学習、図書館、芸術ホー ルを複合）	平成20年12月	入札の延期
平成17年3月	同基本計画 （施設のあり方、運営管理の具体的検討）	平成21年7月	豊橋市芸術文化交流施設整 備等事業実施方針（一部変更）
平成20年3月	同PFI導入可能性調査	平成21年8月	豊橋市芸術文化交流施設特 定事業の選定（一部変更）
平成20年8月	豊橋市芸術文化交流施設整備等事業実 施方針	平成22年4月	民間事業者の選定
平成20年10月	豊橋市芸術文化交流施設特定事業の選定	平成22年6月	契約締結
		平成22年10月	基本設計完了
		平成23年5月	実施設計完了
		平成25年4月30日	開館

穂の国とよはし芸術劇場PLAT（愛知県豊橋市）

【手法】PFI（BPO）民間事業者が施設等を建設し、完成直後、公共施設等の管理者等に所有権を移転し、民間事業者が維持・管理及び運営を行う事業方式

《選定理由》

市自ら実施する場合と比較して、事業期間全体を通じた市の財政負担額を減縮できることが見込まれた

（VFM分析の結果）※最終段階の見込みは5.1%

※VFM分析・・・PFI事業における最も重要な概念の1つ。支払いに対して最も価値の高いサービスを供給するという考え方のこと。
従来方式と比べてPFIが総事業費をどれだけ削減できるか示す割合。

PFI事業範囲	設計・建設・維持管理		設計・建設・維持管理・運営	
	15	20	15	20
運営期間（年）	15	20	15	20
VMF（%）	5.6	5.3	5.0	4.6

・ BTO事業者選定：プロポーザル方式

BTO選定業者業務：①建設設計・建設業務（H22～H24）

②維持管理棟業務、運営補助業務（H24～H39）15年間

・ 指定管理者：財団法人豊橋文化振興財団（指名指定）

指定管理業務：①芸術文化事業実施業務（芸術文化事業の企画・実施）

②運営業務（1.施設の貸館業務／2.窓口・案内業務／3.利用者支援事業）

穂の国とよはし芸術劇場PLAT（愛知県豊橋市）

【施設内容】

【1】 ホール

・ 主ホール778席

- ▣ 舞台芸術以外にも、講演会、大会、ポップス等音響機器を使用したコンサートも想定。
- ▣ 仮設本花道、脇花道、オーケストラピットの設置が可能。束立て式の床構造で、プロセニウム形式以外にもオープン形式の上演も可能な多目的ホール。

・ アートスペース266席（可動席260）

- ▣ 平土間から疑似的なプロセニウム形式まで、必要に応じて客席と舞台の設定が可能。



主ホール



主ホール（本花道）



アートスペース



アートスペース（客席無し）

穂の国とよはし芸術劇場PLAT（愛知県豊橋市）

【施設内容】

【2】芸術文化創造活動施設

(1) 創造活動室 A～G 7室

A)181㎡、B)92㎡、C)47㎡、

D)43㎡、E)34㎡、F)22㎡、G)25㎡

(2) 研修室 2室（大50人、小20人）

(3) 製作工房

(4) 交流スクエア

【3】その他

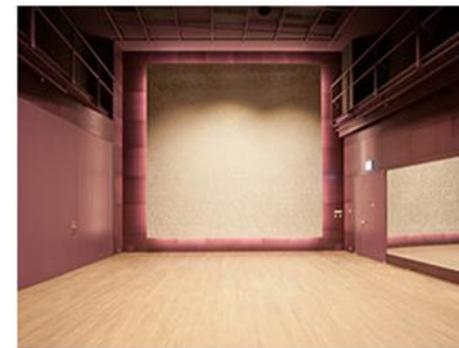
・カフェ、託児室、授乳室

・主催者駐車場



創造活動室A

稽古場。アートのスペースの舞台と同サイズ。演劇や舞踊の上演機器有で小規模上演も可。



創造活動室B

演劇、舞台などの稽古、1人芝居、ワークショップ、会議等も可。



創造活動室C,D

音楽練習室。ワークショップ、会議も可



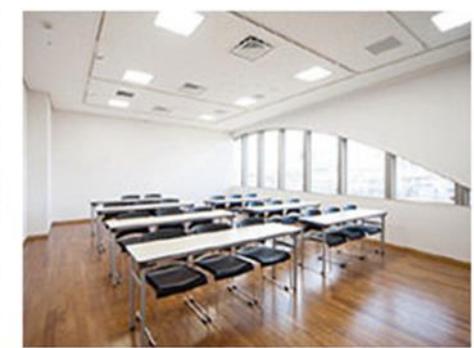
創造活動室E,F,G

練習室。ドラム、電子ピアノ、ギター・ベースアンプ常設。



研修室大・小

ピクチャーレールがあり展示室としても利用可。

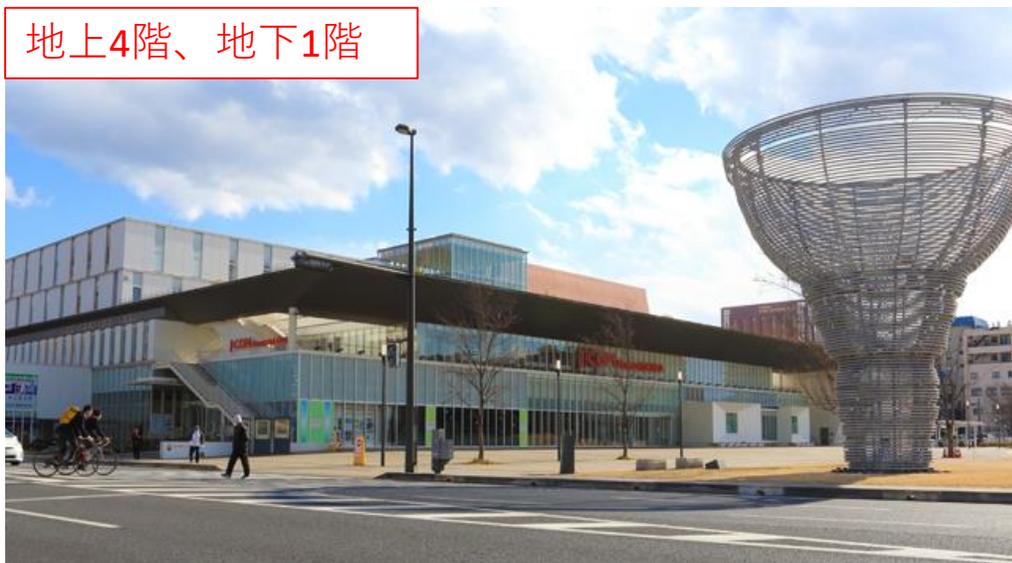


J:COMホルトホール大分（大分県大分市）

【事業概要】

- ・大分駅周辺総合整備事業の一環として大分駅南地区の中核的施設として整備された。
- ・平成18年より基本構想策定を目指し委員会を設置した。
- ・大型複合施設。コンベンション機能については多機能にし、老朽化した大分文化会館の機能代替ができるよう整備を目指した。

地上4階、地下1階



J:COMホルトホール大分（大分県大分市）

【事業経過】

平成19年3月	同基本構想	平成21年12月	契約締結
平成19年12月	同整備民間活力導入可能性調査報告	平成23年1月	設計完了
平成20年9月1日～30日	市民意見募集開始～結果	平成23年3月	着工
平成21年1月	募集要綱等公表	平成24年1月	指定管理者募集
平成21年3月	提出要請者決定	平成24年6月	指定管理者決定
平成21年8月	事業候補者決定	平成25年7月	開館

※上記各事項全ての決定について

委員会を設置

J:COMホルトホール大分（大分県大分市）

【手法】 PFI（DBO） BTOの施設建設費用の調達が公共側である方式

《選定理由》

- ①市の財政負担額を最も減縮できることが見込まれた
- ②PFIより早期の事業実施が期待される
- ③PFIより民間事業者の提案内容を事業契約に反映させやすい
- ④PFIより契約条件の大枠を決め、その範囲で民間事業者が自由に提案できる

・ DBO事業者選定：プロポーザル方式（委員会による審査）

・ DBO選定業者業務：

①建設設計・建設業務（H21～H25）

②維持管理棟業務、運営補助業務（H25～H40）15年間

・ 指定管理者：DBO選定業者（3年更新）

	従来手法	PFI手法	一括事業化提案手法	DBO
民間事業者の業務範囲	-	①設計監理 ②建設工事 ③維持管理 ④運営（一部）	①設計監理 ②建設工事	①設計監理 ②建設工事 ③維持管理 ④運営（一部）
資金調達に関する事項	【市】 ①まちづくり交付金 ②基金 ③起債（合併特例債等） ④一般財源	【市】 ①まちづくり交付金 ②基金 ③起債（合併特例債等（一部）） ④一般財源 【民】 ①自己資金 5% ②市中銀行借入 95%	【市】 ①まちづくり交付金 ②基金 ③起債（合併特例債等） ④一般財源	【市】 ①まちづくり交付金 ②基金 ③起債（合併特例債等） ④一般財源
算定対象とする経費の主な内訳	①設計監理委託費 ②建設工事費 ③維持管理費 ④運営費（一部） ⑤金利支払い ⑥用地購入費 ⑦消費税等	①設計監理委託費 ②建設工事費 ③維持管理費 ④運営費（一部） ⑤金利支払い ⑥用地購入費 ⑦消費税等 ⑧開業経費等 ⑨適正利潤 ⑩モニタリング費	①設計監理委託費 ②建設工事費 ③維持管理費 ④運営費（一部） ⑤金利支払い ⑥用地購入費 ⑦消費税等 ⑧開業経費等 ⑨適正利潤	①設計監理委託費 ②建設工事費 ③維持管理費 ④運営費（一部） ⑤金利支払い ⑥用地購入費 ⑦消費税等 ⑧開業経費等 ⑨適正利潤 ⑩モニタリング費
共通条件	①設計・建設期間：約3年 ②維持管理・運営期間：約20年 ③施設の所有権：市の所有 ④施設規模：約35,000㎡ ⑤割引率 [※] ：2.5%			
設計及び建設に関する費用	類似公共施設の実績に基づき算定。	設計及び建設の一括発注による効率化が図られる等によるコスト縮減を想定。	設計及び建設の一括発注による効率化が図られる等によるコスト縮減を想定。	設計及び建設の一括発注による効率化が図られる等によるコスト縮減を想定。
維持管理・運営に関する費用	類似公共施設の実績に基づき算定。	設計・建設及び維持管理・運営の一括発注による効率化が図られる等によるコスト縮減を設定。	類似公共施設の実績に基づき算定。	設計・建設及び維持管理・運営の一括発注による効率化が図られる等によるコスト縮減を設定。
VFM	交付税措置を考慮しない場合	▲5.3%	▲7.7%	▲13.0%
	交付税措置を考慮した場合	39.7%	▲4.3%	▲13.3%

J:COMホルトホール大分（大分県大分市）

【施設内容】 <文化ゾーン>

【1】 市民ホール

・大ホール1201席

▣多機能ホールとして、コンサート、パブリックビューイング、シンポジウム、講演会・集会、研修会、学会、式典等の多様な活動が可能。親子鑑賞室完備。

▣楽屋1(90㎡),2(46㎡),3(43㎡),4(19㎡),5(18㎡),アーティストラウンジ、ホワイエ ※ホールと一括貸出

・小ホール202席（うち可動席120席、移動椅子席82席）

▣市民の演劇活動、音楽活動からワークショップ、立食パーティー、披露宴等、多目的に活用可能な可動椅子式のホール。平土間にもなる。

▣楽屋6(20㎡),7(18㎡)



大ホール



小ホール



小ホール（客席無し）

J:COMホルトホール大分（大分県大分市）

【施設内容】

<文化ゾーン> 様々な目的に合わせて利用可能な多機能コミュニケーションスペース

- ・スタジオA～C 練習室（ドラム、ピアノ、ギター・ベースアンプ等常設）



スタジオA(33㎡)



スタジオB(18㎡)



スタジオC(8㎡)

<教育・情報ゾーン> 子どもから学生、社会人、高齢者まで、多彩な学習機会を提供する拠点

- ・大分市民図書館（学びとくつろぎの空間、ゆとりのある閲覧スペース）
- ・サテライトオフィスキャンパスおおいた（県内大学等による講義の開講等）
- ・まちづくり情報プラザ（大分市のまちづくりや市政に関する情報発信）

J:COMホルトホール大分（大分県大分市）

<福祉・健康ゾーン>

市民の健康促進や、心身のリフレッシュなど、市民が健やかに暮らすための中心的な役割を担う施設

・大分市総合社会福祉保健センター

会議室17室、障がい者福祉センター（体育室、ウォーキングプール等）、健康プラザ、シニア交流プラザ、子育て交流センター、ひとり親家庭支援プラザ、人権啓発センター、大分市社会福祉協議会、福祉関係団体事務室、公立保育所

<産業ゾーン>

21世紀を担う新しい人材や産業を生み、育て、起業・創業を支援する拠点

・大分市産業活性化プラザ

<交流にぎわいゾーン>

エントランスホール、駅南屋上公園、駅南キッズステーション（子どもの一時保育）、カフェレストラン、民間施設（サテライトスタジオ、その他事務所など）

みなとテラス（鳥取県境港市）

【事業概要】

- ・平成25年度の耐震診断により地震の震動及び衝撃に対して倒壊・崩壊の危険性が高いことが分かり、ホール部分の使用停止。
- ・防衛施設が存在する地域の特徴を活用し、自衛隊員等と防衛施設の周辺地域の住民との文化の交流や防災等のための活動の促進を企図したまちづくりを目指した。
- ・市民交流センター、市民図書館、防災の3つの機能を併せ持つ複合施設。

地上2階



- ・所在地 鳥取県境港市上道町3000
 - ・敷地面積 不明 ・ 建築面積 4,450㎡ ・ 延床面積 6,870㎡（新築工事基本設計書引用）
 - ・ 建設費 4,570百万円 総事業費 5,199百万円-防衛補助金3,271百万円 = 1,928百万円
- ※防衛省の補助事業「防衛施設周辺民生安定施設整備事業」を活用



※境港市HP引用 17 ※人口 約33,116人（R4.8.31時点）

みなとテラス（鳥取県境港市）

【事業経過】

- 平成27年3月 美保飛行場周辺まちづくり構想
- 平成28年3月 美保飛行場周辺まちづくり基本計画
- 平成29年3月 基本設計
- 平成31年3月 管理運営計画
- 令和元年度～3年度 新築工事、条例・規則制定、開館準備 など
- 令和3年度 境港市指定管理者候補者選定委員会
- 令和4年度 開館

【管理運営】

指定管理者：きさらぎ・さんびる共同企業体

※境港市HP引用

みなとテラス（鳥取県境港市）

【施設内容】

- ・ **市民ホール808席**（約560㎡）
 - ▣ コンサート・演劇・講演会など。親子鑑賞室完備。
 - ▣ 緞帳や音響反射板、ピアノ等の各種設備を設置。
- ・ **市民ホール平土間**（約560㎡）
 - ▣ 各種イベント・市民利用など。
 - ▣ 1階の座席を収納して平土間形式にすることにより、展示会や会合などの各種イベントなどに利用可能
- ・ **エントランス**（収容人員約85名 約170㎡）
 - ▣ 市民の作品発表や展示会など、さまざまなイベントに利用可能



市民ホール



市民ホール平土間



エントランス

※みなとテラスHP引用

みなとテラス（鳥取県境港市）

【施設内容】

- ・ **大会議室**（収容人員約90名／約225㎡）
- ・ **中会議室**（収容人員約81名／約163㎡）
 - ▣ 会議、講習会、展示会、販売会など
 - ▣ 収納式ステージ（大会議室のみ）・音響機器・スポットライト・ピクチャーレールなどがあり、会議や講習会、美術展などの開催に最適。
- 部屋を分割して使用することも可能。
ディスプレイやプロジェクターなどの備品貸出あり。
- ▣ **リハーサル室**（収容人員約24名／約81㎡）ピアノやドラムセットあり
- ▣ **楽屋・スタッフルーム室**（収容人員約2～3名／約15～18㎡） ※ホール利用の場合に利用可能



大会議室



リハーサル室



中会議室



楽屋・スタッフルーム

※みなとテラスHP引用

みなとテラス（鳥取県境港市）

【施設内容】

- ・ **和室**（収容人員約30名／約70㎡）
 - ▣ 各種講座や打合せのほか、炉や水屋が設置されお茶会にも適している。
- ・ **図書館**（座席数160席／収容冊数15万冊）
 - ▣ こども図書コーナー、一般図書コーナー、郷土資料コーナー、スタディルーム／コワーキングルーム（グループワーク可能）、ブラウジングルーム（テーブル席、窓際カウンター席、ソファなど様々な席）
- ・ **弓ヶ浜広場**
 - ▣ マルシェやライブ等野外活動
- ・ **カフェ32席**
- ・ **駐車場 213台**



和室



弓ヶ浜広場



図書館



カフェ

茅野市民館・茅野美術館（長野県茅野市）

【事業概要】

同敷地にはかつて茅野市民会館があり、昭和42年開館当時は劇場を持つ最新のホールだったが、茅野駅近くのため列車の音や振動、冷房設備にも問題があり、時代とともに利用者の要望にこたえられなくなっていた。1980年代の建設ブームで長野県内各地に機能的な施設が建設されるにつれ、建替えを求める声が高まった。

平成11年8月に茅野市のまちづくりや芸術文化に関心の深い有志が集まって「茅野市の地域文化を創る会」を結成し、市民館の検討がスタートした。

地上2階



- ・所在地 長野県茅野市塚原一丁目1番1号
- ・敷地面積 15,533.43㎡・建築面積 6,011.49㎡
- ・延床面積 10,806.37㎡
- ・建設費 約35億円（報道資料より）総事業費 不明



※人口 約55,789人（R4.10.1時点）

※茅野市HP引用

茅野市民館／茅野市美術館（長野県茅野市）

【事業経過】

- 平成11年8月 市民参加の茅野市の地域文化を創る会が結成し、基本構想素案をまとめる。
これを基に基本構想を策定。
- 平成13年1月 公開審査型プロポーザル方式で設計業者決定。
- 平成13年6月 基本計画策定委員会を組織し、設計条件（基本計画案）を検討し、
これを基に基本計画を策定。
- 平成14年2月 管理運営計画策定委員会を組織し、管理運営計画をまとめる。
- 平成16年7月 市の全額出資の株式会社地域文化創造を設立。その後、指定管理者制度の
施行に伴い、指定管理者に選定。
- 平成15年8月 建設工事起工。
- 平成17年7月 しゅん工式典、プレオープン
- 平成17年10月 開館

茅野市民館／茅野市美術館（長野県茅野市）

《管理運営》

組織の検討では、直営、財団法人、社団法人、NPO法人、PFI、株式会社などあらゆる可能性を検討し、財団法人が最も適した組織であると評価したが、国の公益法人制度見直しの時期と重なり、設立が困難な状況になった。このため、次善の策として株式会社による運営を選択。平成16年7月に市の全額出資によって株式会社地域文化創造を設立し、その後、指定管理者制度の施行に伴って指定管理者に選定された。

※茅野市HP引用

茅野市民館／茅野市美術館（長野県茅野市）

【施設内容】 <劇場・音楽ホール>

- ・ **マルチホール780席**（劇場形式の場合）
 - ▣ 演劇、音楽、展示、パフォーマンス等さまざまなジャンルのアートに利用可能。平土間利用も可能。
- ・ **コンサートホール300席（320㎡）**
 - ▣ 室内楽の響きの美しさに配慮。
- ・ **アトリエ（リハーサル室）（200㎡）**
 - ▣ 舞台稽古、小規模な発表会、ワークショップ等々に利用可能。バレエバー、鏡あり。
 - ▣ マルチホールの舞台と同じ大きさ。
- ・ **イベントスペース（室内部分110㎡）**
 - ▣ 駅前にあった寒天倉庫の材料を利用して作られた
- ・ **スタジオ（練習室）** ▣ ドラムセットやピアノあり



マルチホール



コンサートホール



アトリエ（リハーサル室）



イベントスペース

茅野市民館／茅野市美術館（長野県茅野市）

【施設内容】

<美術館・図書室ほか>

- ・美術館（常設展示室250㎡、市民ギャラリー（企画展示室）350㎡）

▣市民ギャラリーは3つの展示室に分割可能。

- ・図書室

▣駅から一番近い図書室。芝生の公園やガラス張りのスロープに囲まれている。

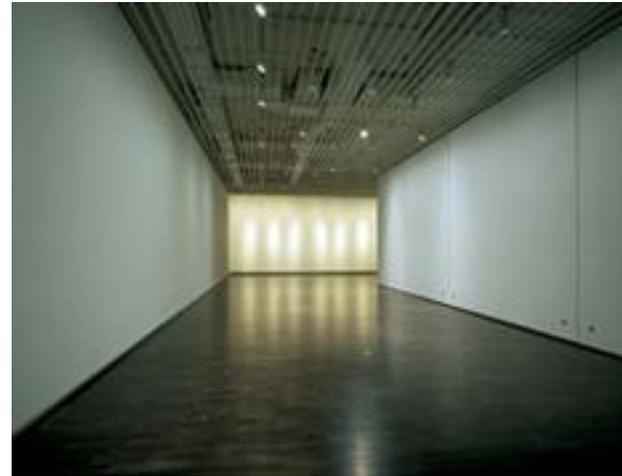
- ・ロビー

▣全ての施設の中心に位置している

- ・レストラン

▣中庭に面した空間

- ・駐車場 256台



美術館



市民館図書室



ロビー



レストラン

※茅野市民館/茅野市美術館HP引用

サントミュージゼ（長野県上田市）

【事業概要】

中心市街地に開発地（JT上田工場跡地）があり、賑わいの創出や健全な市街地形成を目指し、新たな利活用を検討。隣接地には住宅地や大型商業施設ができることから総合的な文化力を持つ交流・文化施設の整備し、開発地全体での一体性、総合性を発揮させる複合的都市計画を目指した。

劇場ホール、美術館、交流芝生広場が併設

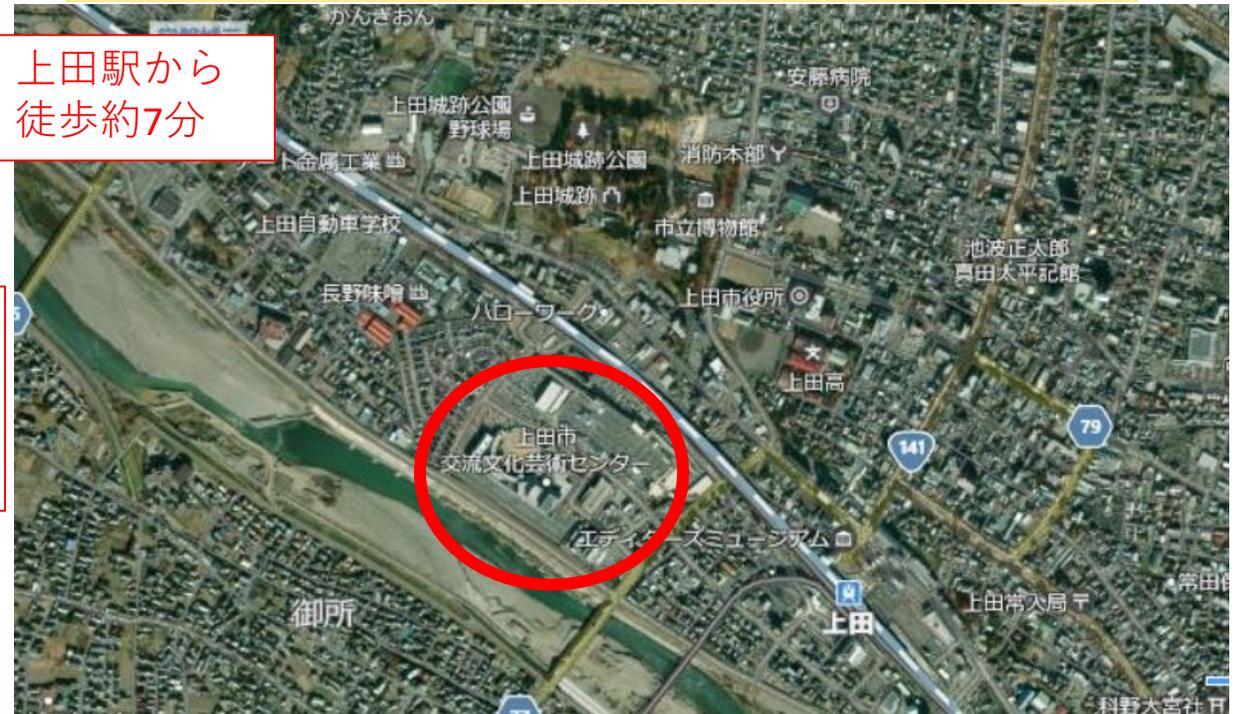


地上
交流センター 4階
美術館 2階
(建物は5階 地下1階)

※上田市、サントミュージゼHP引用

- ・所在地 長野県上田市天神3丁目15番15号
- ・敷地面積 45,469㎡・建築面積 12,303㎡
- ・延床面積 17,595㎡
- ・建設費 不明・総事業費 不明（※交流・文化施設等整備計画(概要版)では、まちづくり交付金・合併特例債・一般財源の合計で約135億円の事業費見込み）

上田駅から
徒歩約7分



サントミュージゼ（長野県上田市）

【事業経過】

- 平成14年7月 JT上田工場閉鎖発表（平成17年6月閉鎖）
- 平成15年1月 閉鎖発表後に市に対してされていた跡地の取得打診について、跡地利活用に関する市の基本方針を回答
- 平成17年3月 新上田市誕生（その後公共利用について検討）
- 平成20年8月 交流・文化施設等整備検討委員会発足。
- 平成21年8月 第17回交流・文化施設等整備検討委員会において「JT開発地における交流・文化施設のありかた検討結果報告書」提出
- 平成21年12月 交流・文化施設等整備計画策定
- 平成23年1月 有識者や市内文化団体代表者からなる交流・文化施設等運営管理計画ホール検討委員会と同美術館検討委員会、庁内組織として交流施設や緑地・広場を含めた統括的な検討を行う統括管理検討委員会設置。
- 平成22年11月 基本設計着手
- 平成23年8月 実施設計着手
- 平成23年9月 交流・文化施設運営管理計画検討結果報告書
- 平成24年3月 実施設計完了
- 平成26年10月 開館

※上田市HP引用

サントミュージゼ（長野県上田市）

《管理運営》

市民参加・協働、教育や福祉、地域経済や産業など、市の関連部署と連携した動きの道筋をつけるため開館時は直営施設とした。（その後指定管理者への移行も含めて慎重に検討する意向。）

その後、令和3年3月に第2期（令和3年度から令和7年度）運営管理計画の見直しでは、検証委員会の答申を踏まえ、以下の理由により引き続き直営とした。（受付や貸館業務等可能な範囲で業務委託を推進し、経費削減に努める。）

- ・新学習指導要領の生徒が能動的に学ぶ学習の導入により、文化芸術部門との連携が、より必要となることが予想され、行政部門と教育部門の更なる連携が求められる。

- ・指定管理による施設運営は、利益優先による市民利用率の低下、利用者サービスの低下につながる恐れがある。

- ・指定管理期間の終了に伴う指定管理者の変更により、事業の継続性が担保されるとは限らない。また職員雇用に係る雇用への不安から人材確保が難しい。

サントミュージゼ（長野県上田市）

【施設内容】

・大ホール1,530席（舞台面積250㎡）

▣音楽、演劇、バレエ、古典芸能、講演会等様々な利用に対応できる多目的ホール。客席と舞台までの最大視距離31mとし、観客と舞台の一体感が感じられるホール。



大ホール

・小ホール320席（舞台面積220㎡）

▣音楽、演劇、舞踊、講演会等々幅広いジャンルの演目に対応可能。客席を取り囲むような形で2階にバルコニー席を設けている。



小ホール

・大スタジオ（250㎡）

▣大ホールの主舞台と同じ広さでリハーサルや公演も可能。練習や発表にも利用できるよう舞台照明や鏡等の設備あり。



大スタジオ

・中スタジオ(52㎡)

▣楽器や合唱練習等に利用可能。スタジオ1～4より広い。



中スタジオ

サントミュージゼ（長野県上田市）

【施設内容】

- ・ **スタジオ 1～4（4室・各部屋24㎡）**
 - ▣ 楽器練習等に利用できる音楽スタジオ。ピアノやドラムセット、ギターアンプ、ベースアンプも常設。
- ・ **多目的ルーム（159㎡）**
 - ▣ 講演会、会議等に対応するため可動間仕切壁や給湯室を装備。隣接する市民アトリエ・ギャラリーと同一形状で、展示利用も可能。
- ・ **第1会議室（44㎡）**
 - ▣ 20名程度の小規模な会議に利用可能。
- ・ **和室（35㎡）**
 - ▣ 15畳で茶会などで利用可能。



スタジオ1～4



第1会議室



多目的ルーム



和室

サントミュージゼ（長野県上田市）

【施設内容】

・企画展示室（424m²）

- ▣鑑賞しやすいシンプルな形状、自由度が高く広い展示壁が特徴の展示室。近現代美術を中心に、幅広い世代で楽しめる多様な企画展覧会を実施。



企画展示室

・常設展示室（272m²）

- ▣上田市立美術館所蔵のコレクションや上田市ゆかりの近現代作家の作品を中心に紹介。



常設展示室

・市民アトリエ・ギャラリー（159m²）

- ▣市民の誰もが利用でき、気軽に日ごろの創作活動の成果を展示・発表できる場。

また、美術講座やワークショップ等制作の場としても利用可能。



市民アトリエ・
ギャラリー

※サントミュージゼHP引用

サントミュージゼ（長野県上田市）

【施設内容】

・アトリエ（37㎡）

- ▣ 少人数の教室や講習会、個人の制作などにも利用可能。
個展やグループ展といった小規模の作品の展示にも適している。



アトリエ

・子どもアトリエ（180㎡）

- ▣ 子どもたちが、自由に創作活動ができる場所。年間を通じて、個人や団体(保育園や学校等) 向けのプログラムを実施。



子どもアトリエ

・中庭

- ▣ 美術館の展示室と子どもアトリエの間に広がる空間で、切り取られた空と外壁の杉板が織り成す景色をもたらす。
軒下にはお絵描きボードが設置されている。

駐車場 390台



中庭